

平成 23 年度 第 2 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 23 年 5 月 17 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 35 分

場 所：県庁 10 階 大会議室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長 ほか
病院 各県立病院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 22 年度決算概要について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 22 年度の決算概要について説明する。

(2) 平成 21 年度地方公営企業年鑑によるベンチマークについて

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

総務省より平成 21 年度地方公営企業年鑑が示された。徳島県は，經常収支比率が 102.2%，実質収支比率が 87.5%，医業収支比率が 94.5 %等，平成 20 年度を上回る数値となっている。

【質疑等】

管理者：外来診療単価について，一位の静岡県がダントツに高いが，どういった理由によるものか。

中央病院：静岡県立病院については，静岡県立静岡がんセンターのみが地方公営企業法全部適用（全適）の経営形態をとっている。そのため，がん診療の影響が出ているものと思われる。

(3) 医療救護班等による被災地支援の検証と県立病院の震災対策について

【説明】中央病院

東日本大震災における中央病院の災害医療の取組及び災害医療を通じて学んだことを報告する。

【説明】三好病院

被災地支援として，三好病院から派遣された徳島県医療救護班第 5 班の活動報告を行う。また，震災時に病院機能を維持するための検討項目や病院の役割等，震災対策について説明する。

【説明】海部病院

海部病院における被災地支援活動の状況及び「地震対策マニュアル」の改正に向けた取組，災害対策用備蓄品の現状等について報告する。

【質疑等】

中央病院：海部病院は津波避難場所になっているとのことだが、住民の方ほどのくらい避難してきたのか。

海部病院：1名の方が避難して来られた。しばらくいたが、日が暮れる前に帰っていった。

中央病院：牟岐町の避難具合についてはどうだったか。

海部病院：津波警報が発令された時は干潮時であり、せっぱ詰まった感じはなかった。

(4) 平成 23 年度コンプライアンス推進について

【説明】 病院局総務課 政策調整担当

平成 23 年度の病院局コンプライアンス推進体制、また、コンプライアンス宣言の署名及びコンプライアンスカードの携帯等コンプライアンス推進のための取組について説明する。

【質疑等】

病院局長：コンプライアンスについて、補足したい。こうした不祥事はもう二度とあってはならない。再発防止をしっかりと行ってほしい。業者との接触機会や発注の多さなど病院の特殊性はあろうかと思うが、事件を契機にして、改める必要がある。不祥事根絶策を一つ一つ確実に実施していくこと、全てが初めから 100 %とは難しいかもしれないが、決まった以上やっていくしかない。職員に徹底してほしい。

(5) 「物品購入改善マニュアル」の改訂について

【説明】 病院局経営企画課

【質疑等】

病院局：「まず実行すること」でお願いしたい。

(6) その他

管理者：今日は経営戦略会議がどのように行われているか見させてもらった。これからも継続してやってほしい。これまで公的病院にいて民間病院に近い経営だったので、自治体病院に対するとまどいはあるが、よろしくをお願いしたい。

管理者：病院経営については、繰入金を除いた医業収益に重点を置いてチェックしてもらいたい。また、BSC（バランススコアカード）に基づく「業務」、「教育・研修」、「利用者視点」、「財務」の4つの視点を大事にしてほしい。まず、業務については、医療がどれだけ進歩しているかという大前提であり、そのためには、二つ目の人材育成、つまり、人が育つ環境を作ることが大事であ

る。また、利用者視点については、患者や職員はもちろんのこと、業者を含む関係者の満足度を考えないといけない。最後に組織経営の安定化のための財務。借入金に対して、自己資金がいくらあるか常にチェックしてほしい。

管理者：全員が意思統一をして、常に病院経営を意識しながら動いてほしい。病院経営全体の責任は私にあると自覚しているが、各病院の経営については、県立3病院それぞれ共通する部分もあると思うが、規模・地域性等独自性があるため、院長をはじめとして主体的にやってほしい。中長期的な課題として、新規入院患者をどう増やすかという問題がある。救急患者をできる限り断らないように。